

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書
【小学校・外国語活動・外国語科部会】

所属名 青森県教育庁学校教育課
職名・氏名 指導主事 加藤 匡顕

【報告書のポイント】

- ・全国学力・学習状況調査の結果から成果と課題を捉えること。
- ・生成AIの進化の中で、公教育における外国語教育の意義（学校だからこそ行える、先生、ALTなどのスタッフ、児童生徒が集うからこそできる授業の在り方）について考えること。
- ・「言語活動を通して」指導することの具体について理解し、実践に生かすこと。
- ・小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて（小中連携を進めるポイント）について理解し、実践に生かすこと。

1

行政説明 文部科学省初等中等教育局外国語教育推進室 浅原室長
「外国語教育の更なる充実に向けて」

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題
～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から～

(2) 生成AIの利用についてガイドラインと取組の方向性

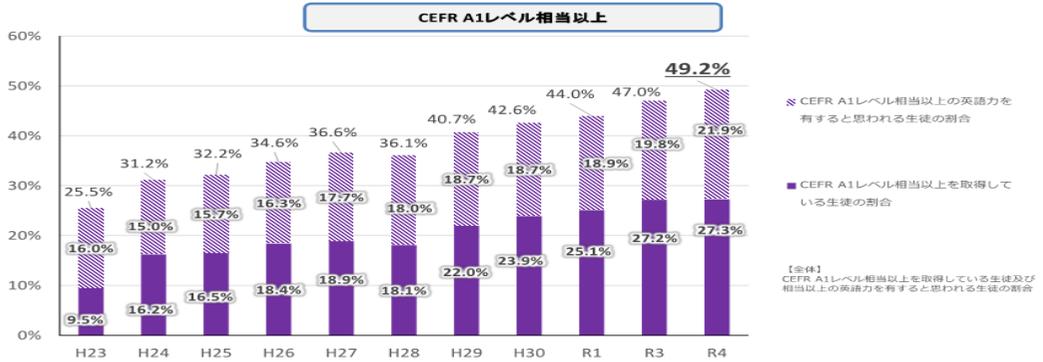
2

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題 ~令和4年度英語教育実施状況調査~

中学生の英語力

(出典) 令和4年度英語教育実施状況調査

- CEFR A1レベル (英検3級) 相当以上を達成した中学生の割合は、目標 (50%) に対して49.2%となっているものの、着実に改善が進んでいる。一方で、都道府県・指定都市による差 (6ページ参照) がある。特に課題が見られる自治体の状況を把握・分析し、英語教育の改善・充実につなげることが必要。
- CEFR A1レベル相当以上の中学生の割合は、昨年度比2.2ポイント上昇している。



※「第3期教育振興基本計画」(H30~R4)では、中学校卒業段階でCEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合50%を目標としている。
 ※「CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等を取っていないが、2技能または3技能を測る試験のスコア、公式な記録としては認定されない試験のスコア、CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果、各教育委員会モデル校での検証に基づいて定めた目安等により、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒を指す。
 ※上のグラフでは、中学校第3学年の生徒に占める割合を算出している。
 ※H23・H24の数は「『国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策』に係る状況調査」に基づく。

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題 ~令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から~

読むこと

◆ 日常的な話題に関する文章の概要を捉えることに課題がある。

具体的な設問例
(大問7(2))

町の図書館について書かれた英文を読み、概要として最も適切なものを選ぶ。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the tatami mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

正答率 : 35.2%

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people. ...25.2%
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions. ...24.2%
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people. ...14.6%
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together. ...14.6%

誤答例の分析と課題

情報の不足や偏り、内容の具体性のバランスなどを踏まえ、英文全体の主題と各段落の主な内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題があると考えられる。

正答率
全国 : 35.2%
県 : 32.6%

英文全体の主題と各段落の主な内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題 ～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から～

書くこと

◆社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。

具体的な設問例 (大問8(2)) □ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を英語で書く。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



正答率：20.1%

無解答率：28.9%

〈正答例〉

- ・ I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- ・ I don't agree with you because people will lose their job.

〈誤答例〉

- ・ Yes, I do. I think robots is very nice.
- ・ No, I don't. I don't like robots. …27.8%

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、英文の書き手の意見を踏まえて書くことに課題があると考えられる。どのようなことを書けば理由になるのか理解できていない、あるいは、理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられる。また、自分の考えやその理由を書くことはできているが、文法事項等の誤りがある解答が7.6%である。このような解答をした生徒は、基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題があると考えられる。

正答率
全国：20.1%
県：15.7%

無解答率
全国：28.9%
県：31.3%

理由を英文の書き手の意見を踏まえて書くこと、基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題

無回答の原因に着目することで授業改善の手掛かりに

5

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題 ～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から～

話すこと

◆社会的な話題について聞き、自分の考えとその理由を話すことに課題がある

具体的な設問例 (話すこと大問2) 環境問題についての英語のプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話す。



正答率：4.2%

無解答率：18.8%

〈正答例〉

- ・ I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our action to protect environment like people in New Zealand.

〈誤答例〉

- ・ I'm surprised. ・ We are buy eco bags. …50.0%

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、プレゼンテーションへの感想のみを話しており、話し手の意見を踏まえた上で、自分の考えやその理由を聞き手に話して伝えることに課題があると考えられる。その背景には、自分の考えやその理由を整理できなかったり、自分の考えとその理由を話すために必要な表現が身に付いていなかったりすることがあると思われる。

＜参考＞

- ・ 「(英語「話すこと」調査で) 聞いたことを理解したが、話す内容が思い浮かばなかった」と回答した生徒 …35.8%
- ・ 「(英語「話すこと」調査で) 聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった」と回答した生徒 …41.1%

正答率
全国：4.2%

無解答率
全国：18.8%

話し手の意見を踏まえた上で、自分の考えやその理由を聞き手に話して伝えることに課題

英語(話すこと)調査に着目することで授業改善の手掛かりに

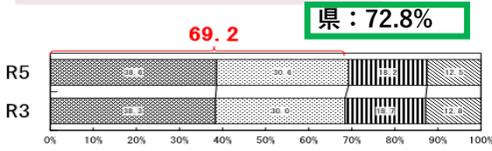
6

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題

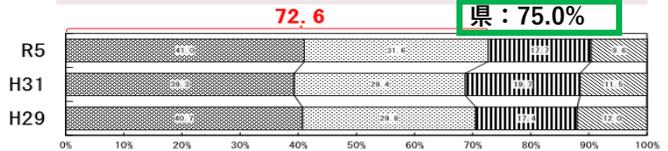
～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から見える主な成果と課題～

【成果】小学生の英語学習に対する興味・関心に関する項目について、肯定的な回答が高い割合

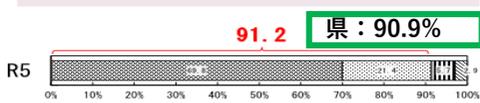
英語の勉強は好きですか。



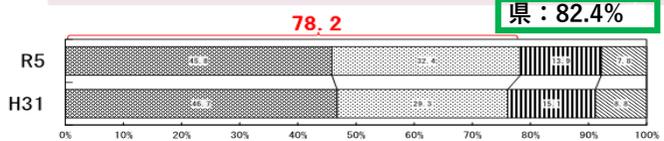
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか。



英語の勉強は大切だと思いますか。



日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいですか。



Legend: 当てはまる (solid), どちらかといえば、当てはまる (diagonal lines), どちらかといえば、当てはまらない (horizontal lines), 当てはまらない (white).

本県においても、肯定的な回答の割合が高い。

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題

～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から見える主な成果と課題～

【成果】中学校の授業改善の取組に大きく進捗が見られている。



本県では、特に「話す(やり取り)」「統合的な言語活動(聞く/読む→話す)」において、大きな進捗。「統合的な言語活動(聞く/読む→書く)」については課題。

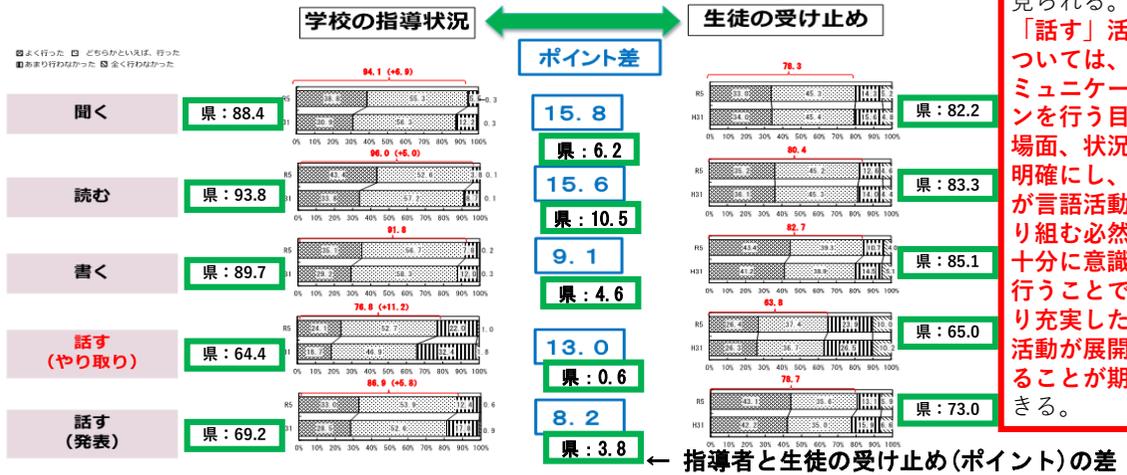
口内の数値はH31年度調査との比較→

(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題

～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から見える主な成果と課題～
 【課題】一方で、多くの項目で、生徒の受け止めとの間にギャップがみられている。

⇒言語活動の目的や場面、状況等が明確に設定されておらず、生徒が言語活動に取り組む必然性を十分に意識できていない可能性。

本県では、特に「読む」活動において、生徒との受け止めとの間にギャップが見られる。「話す」活動については、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にし、生徒が言語活動に取り組む必然性を十分に意識して行うことで、より充実した言語活動が展開されることが期待できる。

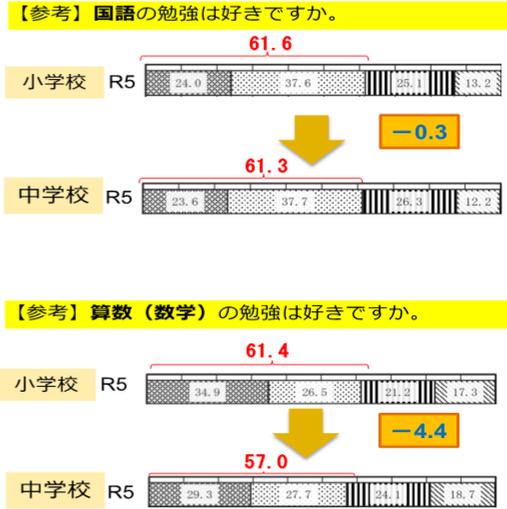
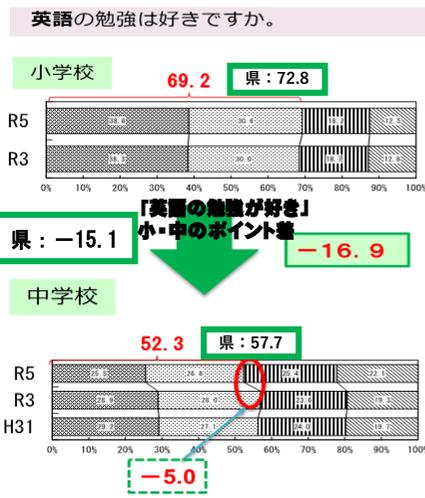


(1) 中学生の英語力及び授業改善に関する状況・課題

～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から見える主な成果と課題～
 【課題】「英語の勉強は好き」に肯定的に回答する割合が、小学校から中学校で大きく減少。

全国と同様に、本県でも、「英語の勉強は好き」と肯定的に回答する割合が小学校から中学校で大きく減少していることが課題。

言語活動に取り組んでいる割合が高いほど、「英語の勉強は好き」と肯定的に回答する割合が高くなる相関関係がある。



(2) 生成AIの利用についてガイドラインと取組の方向性

～英語教育におけるAIの活用について～

◎ 子供たちの未来－社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代。
グローバル化が加速度的に進み、世界共通の課題も増加していく中で、異なる文化や異なるバックグラウンド、異なる価値観を持つ他者と協働して課題を解決していくことが求められる。
そのためには、言語の背景にある文化や相手への配慮をしながら、自分が伝えたいことを伝え合い、理解し合う資質・能力が不可欠。

現行学習指導要領が目指すものは、AIにはできない、**コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を踏まえ、言語の背景にある文化や相手への配慮をしながら、自分が本当に伝えたいことを伝え合い、理解し合う資質・能力の育成**

- 実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合うなどの「言語活動」を通して育成。
- AIツールは、そうした資質・能力の育成に資するよう活用することが求められる。

期待されるAI活用の方向性

AIを活用した、会話・発音練習に適した学習ツールが続々と開発されている。
・個人の習熟度に合わせた、アダプティブな対話や、即興的な対話を継続できるツール
・リアルタイムに発音の正確さを判定し、正しい発音できるようにアドバイスできるツール など



- ◎ 授業における「言語活動」（自分の考えや気持ちを互いに伝え合うなどの活動）の取組の充実につなげること
- ◎ 会話・発音練習など、個々の生徒の状況に応じた「個別最適な学び」の充実につなげること
- ◎ パフォーマンステストの実施や、その充実につなげること

「学校だからこそ」先生、ALTなどのスタッフ、児童生徒が集うからこそ、の授業の在り方とは？

現行学習指導要領が目指すものは、AIにはできない、この資質・能力の育成であることに留意。

「学校だからこそ」先生、ALTなどのスタッフ、児童生徒が集うからこそできる授業の在り方について考えることが重要。

11

2 行政説明 文部科学省初等中等教育局外国語教育推進室 直山視学官 「小学校外国語教育の充実に向けて」

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

(2) 小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて（小中連携を進めるポイント）

(3) 生成AIの進化の中で、公教育における外国語教育の意義について

12

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

「言語活動」とは

外国語活動や外国語科における言語活動は、記録、要約、説明、論述、話し合いといった言語活動よりは基本的なものである。学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、言語活動は、「**実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う**」活動を意味する。

したがって、外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かということそうではない。言語活動は、言語材料について理解したり練習したりするための指導と区別されている。実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うという言語活動の中では、**情報を整理しながら考えなどを形成する**といった「**思考力、判断力、表現力等**」が活用されると同時に、英語に関する「**知識及び技能**」が活用される。 「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」(2017年 文部科学省)

13

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

小学校学習指導要領(平成二十九年告示) 外国語活動

3 指導計画 [知識及び技能]

(1) 指導計画 (1) 英語の特徴等に関する事項

ウ **実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行う際は、2の(1)に示す事項について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うこと。**また、英語を初めて学習することに配慮し、簡単な語句や基本的な表現を用いながら、友達との関わりを大切にしたい体験的な言語活動を行うこと。

小学校学習指導要領(外国語活動)

には、言語活動を行う際には、[知識及び技能](1)に示す、英語の特徴等に関する事項について理解したり練習したりするための指導を**必要に応じて**行うことと示されている。

「必要に応じて」という部分が指導者の腕の見せ所である。ポイントは子供が必要感を感じているか。

14

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

小学校学習指導要領(平成二十九年告示) 外国語

3 指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画の作成上の配慮事項

ウ 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行う際は、2の(1)に示す言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うこと。また、第3学年及び第4学年において第4章外国語活動を履修する際に扱った簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を繰り返し指導し定着を図ること。

小学校学習指導要領(外国語)にも、言語活動を行う際には、言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うことと示されている。

「必要に応じて」という部分が指導者の腕の見せ所である。ポイントは子供が必要感を感じているか。

15

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

中学校学習指導要領(平成二十九年告示) 外国語

3 指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画の作成上の配慮事項

ウ 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行う際は、2の(1)に示す言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うこと。また、小学校第3学年から第6学年までに扱った簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を繰り返し指導し定着を図ること。

中学校学習指導要領(外国語)にも、言語活動を行う際には、言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うことと示されている。

「必要に応じて」という部分が指導者の腕の見せ所である。ポイントは子供が必要感を感じているか。

16

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

延岡市立旭小学校 長谷教諭 第6学年の実践に学ぶ

単元名

ツアープランナーになろう

(Junior Sunshine 6 Lesson 3 Where do you want to go?)

単元の目標

- I want to go to ～. I want to see/eat ～. 等の自分の行きたい場所やその理由などについて伝える語句や表現を理解することができる。
- 校長先生や担任に伝わるように工夫しながら修学旅行で自分の行きたい場所について伝えることができる。
- 校長先生や担任に伝わるように工夫しながら修学旅行で自分の行きたい場所について伝えようとする。

17

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

単元計画

- ① 単元ゴールを知り、行きたい場所を尋ねたり答えたりできる。
- ② 行きたい場所について伝え合うことができる。
- ③④⑤ 相手がよく分かるように工夫して行きたい場所について伝え合うことができる。
- ⑤ 「話すこと[発表]」について「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」で記録に残す評価
- ⑥ 相手がよく分かるように工夫して行きたい場所について伝えたり、行きたい場所の理由等を例文を参考に書いたりできる。
「書くこと」について「知識・技能」で記録に残す評価
- ⑦ 校長先生や担任に自分が行きたい場所の魅力を伝えるために、行きたい場所やその理由について、考え等を伝えることができる。
「話すこと[発表]」について「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」で記録に残す評価

単元計画の4時間目の目標は「相手がよく分かるように工夫して行きたい場所について伝え合うことができる」と設定。
記録に残す評価を5、6、7時間目に設定。

18

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

第4時の流れ

- ①アルファベット・ジングルを言う。(WCデジタル教材活用)2分
- ②単元のゴールを確認し、指導者の行きたい場所についての話を聞いて評価する。4回 7分
- ③前回授業の自身の発表動画を視聴し、工夫点を考え、工夫できそうなことをWSに記載する。4分
- ④ペアワーク1回目3分
- ⑤中間指導1回目7分
- ⑥ペアワーク2回目3分
- ⑦ペアワーク3回目2分
- ⑧中間指導2回目4分
- ⑨ペアワーク4回目2分
- ⑩中間指導3回目3分
- ⑪自身で発表を録画して提出する。2分

4 時間目の目標を達成するために、このような学習活動（流れ）を計画。

- ・単元のゴールの確認（指導者の発表を聞き、児童が評価する）
- ・ペアワーク（4回）
- ・中間指導（3回）
- ・自分の発表を録画して提出

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

②単元のゴールを確認し、指導者の行きたい場所についての話を聞いて評価する。4回 7分

修学旅行行先の決定権を持っている校長先生、そして次に決定権を持っている〇〇先生にたくさん話す前に、長谷先生の発表を聞いて。大分だったらということで話します。校長先生になったつもりで聞いて、「納得！」なら☆3つ、「よく分かった」なら☆2つ、「今一つ」なら☆1つで評価してください。

1回目

Hello.
I want to go to Kijimakogen Park.
I like *yuenchi*. Thank you.

☆1つ。詳しくない。理由がない。

「どんなことを言えばいい？」

ジェットコースターが好きだとか。

2回目

Hello.
I want to go to Kijimakogen Park.
I like *yuenchi*.
I want to enjoy roller coaster. Thank you.

☆2つ。

「どんなことを言えばいい？」

子供から考えを引き出している

ローラーコースターの名前。
アトラクションのどこが楽しいか。
木島高原の特徴、そこにあるものとか。

3回目

I want to go to Kijimakogen Park.
I like *yuenchi*.
I want to enjoy roller coaster, Jupiter.
It's exciting.
It's fun. Thank you.

☆2つ。

なかなか厳しいね。
最後にもう一回聞いて。

4回目

I want to go to Kijimakogen Park.
I like *yuenchi*.
I want to enjoy roller coaster.
It's exciting.
Do you like roller coaster?
I want to buy *omiyage*.
I want to enjoy shopping.
I can get *omiyage*, cookies and key holders.
I want to go to Kijimakogen Park. Thank you.

☆2.99。
もっと詳しく言えば、
☆3つもらえる。

自分たちのはどう？
校長先生や〇〇先生が納得してくれそう？
前回の発表動画を見て、☆いくつもらえそう？

☆1つもない。
もっと工夫が必要。

さっき、先生にアドバイスをくれたね。
校長先生や〇〇先生に選んでもらえるようにするには、自分ならどうするか考えて。

自分ならどうするか考えさせている

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

③ 前回授業の自身の発表動画を視聴し、工夫点を考え、工夫できそうなことをWSに記載する。4分

児童1

質問する。
その場所にはどのようなものがあるか付け加える。
イルカなどのショーがあったりたくさん魚がいる。
魚が好きか質問する。

児童2

なぜ水族館に行きたいか理由を言ってなかった。
ペンギン、イルカを見たい。
家族にお土産を買いたい。

子供のWSへの記述

前回の自分自身の発表を再確認し、相手に自分の伝えたいことをよりよく伝えるためにどんな工夫ができそうか考えさせている

④ ペアワーク1回目3分

児童1

1回目

I want to go to Aquarium.
I like fish.
I want to see dolphins.
Do you like fish?

WSへの記述を意識した発話

相手に自分の伝えたいことをよりよく伝えるために工夫ができそうな点を意識してペアワークさせている

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

⑤ 中間指導1回目7分

T: 困ったことはなかったですか。
K1: 「日本で唯一の」ってどう言うんですか。
T: ちなみに何が言いたかったの？
K1: 日本で唯一鹿児島にあるウミウシ研究所を見たい。
T: Where do you want to go?
K1: I want to go to Aquarium.
T: さあ、研究所を見たいの？
K1: 行きたい。
T: じゃあ、どう言えばいい？
K1: I want to go to Umuushi Kenkyusha.
T: みんな、「唯一」は、どうする？
Ks: Only one.
T: どこで？
Ks: in Japan.
T: じゃあ、どうする？
Ks: Only one in Japan.
T: つなげられる？
K1: I want to go to Umuushi Kenkyusha, only one in Japan.

T: 「動物がたくさん」って言う言んですが。
Ks: animal/animals/a lot of animals.
T: A lot animals. たくさん動物がいるということ、どういうこと？
Ks: ...
T: たくさんいるってことは、そこに行けば？
Ks: 見られる！
T: 誰が？
Ks: I.
T: じゃあ、どうする？
Ks: I can see.
T: I can see?
Ks: animals.
T: I can see?
Ks: I can see a lot of animals.
T: K2さん、言ってみて。
K2: I can see a lot of animals.

直訳ではなく、今使える表現で言いたい内容(表現)を子供に考えさせるための言葉がけ

文発話を子供に求めるための言葉がけ

子供が文発話ができるようになるまで指導しきることが大切

T: 工夫したことは？
K3: 魚を見たいと言った。
T: 言ってみて。
K3: I want to see fish.
T: みんな、K3にどんなことが聞いてみたい？
Ks: どんな魚を見たい？
T: じゃあ、どうする？
Ks: What fish do you want to see?
K3: I want to see dolphin(s).

T: K4さん、さっき言ったことを教えて。
K4: I want to go to Hirakawa-machi in Kagoshima City.
T: どうして？
Ks: 場所を詳しく言った。
T: そうすると、校長先生もどこのかよくわかって判断材料になるね。
K5さんが言ったことに、K6さんがアドバイスをしました。
さっき話したことを言ってみて。
K5: Cute. Tで、K6さん、どんなアドバイスをしたんだっ？
K6: It's cute.
T: みんな、こんなシリーズ使ったよね。(単語カード掲示)
どんなふうに使った？
Ks: It's beautiful/cool/delicious/enjoy.
T: そうね、ここ、難しいね、enjoyの時は、I want to enjoy shopping. ほかにもどんなふうにする？(単語カード掲示)

T: そうね、ここ、難しいね、enjoyの時は、I want to enjoy shopping. ほかにもどんなふうにする？(単語カード掲示)

Ks: I want to see/eat.
T: 感想の時は、It's fun.って言うよ。

子供の良い事例から、子供に考えさせる(指導者が先に教えたり示したりするのはではない)

より相手に分かってもらうため、詳しく伝えるためにどんな工夫ができるかを子供に考えさせるための言葉がけ

子供のIt's enjoy.という誤りを受けて、ここで初めて単語カードを提示

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

⑥ペアワーク2回目3分

⑦ペアワーク3回目2分

児童1 2回目
I want to go to Aquarium.
I like fish.
I want to see dolphins.
It's beautiful.

1回目
I want to go to Aquarium.
I like fish.
I want to see dolphins.
Do you like fish?

児童1 3回目
I want to go to Aquarium.
I like fish.
I want to see dolphins.
It's beautiful.
Do you like fish?
Do you like dolphins?

児童3
I want to go to ~.
I want to eat Karukan.
Do you like Karukan?

Yes, I do.
Yes, I do.
So so.

言語活動の中で、情報を整理しながら考えなどを形成するといった「思考力、判断力、表現力等」が活用されると同時に、英語に関する「知識及び技能」が活用される。上記児童1の発話内容から、中間指導も踏まえて言語活動を繰り返す中で発話内容等を思考しながら話していることが分かる。

⑧中間指導2回目4分

T: 困ったことは？
K7: 「滝」ってなんて言うの？
Ks: Water じゃーじゃー
T: 水が落ちている。
Ks: Water slider/Jangle water slider
T: 一回やってみよう。No idea? Water fall.
Ks: 秋？
T: 使えそう？確認しよう。Water fall.
Ks: Water fall.

K8: 「家族にお土産を買いたい」ってどう言うの？
T: 買ったのは、誰？
Ks: I
T: じゃあ、どうする？
Ks: I want to buy...
T: 「お土産」はどうする？先生は、いつも「お土産」って言った。何か知っている言葉で考えて。
Ks: Present!
T: いいね。じゃみんなで、言おう
Ks & I: (I want to buy a present.)
T: 誰に？
Ks: my family
T: for my family 言ってみよう。
Ks & I: (I want to buy a present for my family.)
T: じゃあ、友達になら？
Ks: for my friend
T: じゃあ、長谷先生になら？
Ks: for Hase sensei

K9: 「火山」ってどう言うの？
T: fire mountain
T: 漢字、そのままね。
Ks: Space mountain
T: これは、先生が教えるね。volcano
(K9に繰り返し返すよう指示)
K9: volcano
T: 難しかったら、KazanでOKですよ。

文発話を子供に求めるための言葉かけ
学習指導要領「知識・技能」に係る目標に「文構造」と記されている

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

⑨ペアワーク4回目2分

児童1 4回目
I want to go to Aquarium.
I like fish.
I want to see dolphins.
It's beautiful.
Do you like fish?
Do you like dolphins?
Where do you want to go?
Yes, I do.

児童4
Yes, I do.
I want to eat Tonkatsu.
Do you like Tonkatsu?
I like Tonkatsu.
It's delicious.

Why?
I like Tonkatsu. I can eat Tonkatsu in Nobeoka City.
Why, in Kagoshima?
鹿児島は、とんかつが有名だから…

児童4が、いきなりI want to eat Tonkatsu.と話し出した様子を観察した長谷先生は、児童4に、“Why? I like Tonkatsu. I can eat Tonkatsu in Nobeoka City. Why, in Kagoshima?”と声をかけ、内容について再考を求めている。

⑩中間指導3回目3分

T: 今ね、児童4さんとK11さんは同じことで困ってました。何に困ったの？
児童4: とんかつは、延岡じゃなくて、なぜ鹿児島なのか。
K11: 「有名」ってなんて言うのか。
T: やったよ。
Look. This is Hokkaido. It's ...?
Ks: Look. This is Hokkaido. It's famous for ...
Ks: It's famous for Tonkatsu!
Ks: It's famous for Kurobuta!
T: 黒豚？
K11: Black pork!
T: 児童4さん、Where do you want to go?
児童4: I want to eat Tonkatsu. Do you like Tonkatsu?
T: Yes, I do.
児童4: I like Tonkatsu. It's delicious. It's famous for Tonkatsu.

デジタル教科書を映し出す
以前の単元で扱った表現に再び出会わせる

児童4: 「とんかつは、延岡じゃなくて、なぜ鹿児島なのか。」、K11: 「有名ってなんて言うのか。」という困りに対して、他の児童から反応がないため、長谷先生は「やったよ」と声をかけ、デジタル教科書から以前の単元で扱ったチャンツの画像を映し出し“**This is Hokkaido. It's...?**”と言い始めると、子供たちがそのチャンツを思い出して言い出している。

(1) 「言語活動を通して」指導することについて

～発話内容から見る児童1と児童4の変容～

第4時 児童1 1回目
I want to go to aquarium.
I like fish.
I want to see dolphins.
Do you like fish?

第4時 児童4
I want to eat Tonkatsu.
Do you like Tonkatsu?
I like Tonkatsu.
It's delicious.

第5時 児童1
I want to go to Kagoshima aquarium.
I like aquarium.
I want to see fish.
Do you like fish?
I want to see dolphins.
Do you like dolphins?
You can see dolphin show.
I want to go to aquarium.

第5時 児童4
I want to go to Kagoshima.
It's famous for Tonkatsu.
I want to eat Tonkatsu.
Do you like Tonkatsu?
You can eat Tonkatsu.
I like Tonkatsu.
It's delicious.

授業とは、本時の目標に向けて児童が変容すること

～後日談～

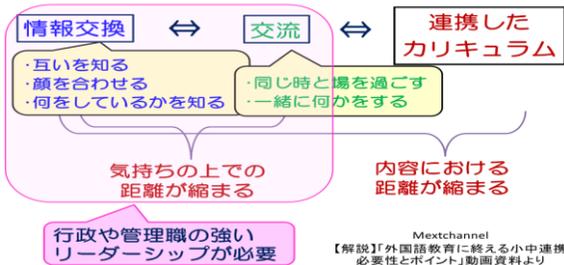
この学年の児童たちは実際に鹿児島に行き、自分たちが校長先生や学級担任の先生に提案した行きたい場所に行った。また、児童4は、とんかつを食べることができ、おいしかったと長谷先生に報告をした。

子供たちにとって
・本物
・必然

(2) 小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて

小中連携を進めるポイント

一気に「連携したカリキュラム」に進むのは難しい



連携を進めるポイント

小中連携したカリキュラムの設定

- ・環境
 - ・目標
 - ・学習内容
 - ・指導法
 - ・教材
 - ・学習評価
- 目標の一貫性 (目標)
学習内容の系統性 (学習内容)
指導法の継続性 (指導法)
- Mextchannel
【解説】「外国語教育に終える小中連携必要性とポイント」動画資料より

- 小中連携している学校の割合 ()内は全国の割合 【 】内は全国との差
令和4年度英語教育実施状況調査(文部科学省実施)結果より
青森県: 59.5% (75.5%) 【▼16.0%】
- 文部科学省が提示する小中連携の3つの形態(具体的な内容)
 - ・情報交換(授業参観、年間指導計画の交換等)を実施している学校の割合
青森県: 52.7% (64.0%) 【▼11.3%】
 - ・交流(指導方法等についての検討会、授業参観後の研究協議会等)を実施している学校の割合
青森県: 27.7% (46.3%) 【▼18.6%】
 - ・小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定を行っている学校の割合
青森県: 6.8% (21.8%) 【▼15.0%】

(2) 小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて

小中連携を進めるポイント 指導法の継続性

- ・「共通点」を理解する
「言語活動を通して」指導する
- ・「相違点」を理解する
 - 小学校：文字・文構造 単文
聞く・話す > 読む・書く
読むこと・書くことの指導の目的・在り方
 - 中学校：文法 重文、複文
聞く・読む・話す・書く
読むこと・書くことの指導の目的・在り方
言語活動の高度化
話題の広がり・語彙大幅増加

小中連携を進める上でのポイントの一つが、「指導法の継続性」



校種間で適度な段差が必要であり、その段差をつくる上で、「外国語教育における校種間の共通点・相違点を理解すること」が大切

Mextchannel

【解説】「外国語教育に終える小中連携
必要性とポイント」動画資料より

27

(2) 小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて

中学校の指導を見据えて、小学校の指導で大切にすべきこと

- ・言語活動の充実
- ・言語活動を通して指導する
- ・Can-Doリストの作成とそれに基づいた単元計画
- ・目標と指導、評価の一体化
- ・小・中の共通点と相違点の意識
- ・バックワードデザインでの単元計画作成

- ・小学校での「読み」「書き」の指導の在り方

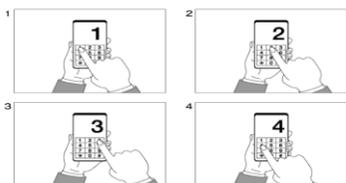
- ・中学校入門期における指導内容吟味

28

(2) 小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて

② (放送問題)

あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。



8 英語の授業で、ブラウン先生の作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(注)
Plate: 皿
Even if ~: たとえ
~だとしても
Apartment:
アパート
Agree with:
~に賛成する

10

あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

話すこと大問1

あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。

話すこと大問1

英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。

「言語活動を通して」指導する際に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確に設定することがとても大切

↓
全国学力・学習状況調査のリード文は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの設定が明確であり、言語活動を行う際の参考となる

29

(3) 生成AIの進化の中で、公教育における外国語教育の意義について

最後に

【生成AIに影響を受ける職業】

- ① テレマーケター
- ② 教師 (英語・英文学)
- ③ 教師 (外国語・外国文学)
- ④ 教師 (歴史学)
- ⑤ 教師 (法学)

(出典：ニューヨーク大学経営大学院・シーマズ准教授の論文「ChatGPTのような言語モデルは職業と産業にどのような影響を与えるか?」)

現行の学習指導要領が目指しているのは、AIにはできない、**コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を踏まえ、言語の背景にある文化や相手への配慮をしながら、自分が本当に伝えたいことを伝え合い、理解し合う能力の育成**です。

18

30